

日夜動き続ける 日立ハイテク

さまざまな場所で日立ハイテクの製品が活躍！

Special Interview

高専出身者が語る

海外駐在の魅力
設計部長までの道

社会と社員のために
日立ハイテクの取り組み

エンジニアが
手掛ける仕事とは

知る力で、世界を、
未来を変えていく

ずっと住みたい街
茨城・山口で働く

データでみる日立ハイテク
ご家族の皆様へ

日夜動き続ける日立ハイテク

意外なところにも日立ハイテクの製品が活躍

私たちは、日常生活に欠かせない製品やサービスを支えるために、多様な技術開発に取り組んでいます。血液検査の自動化を進めることで、迅速かつ安心して医療を受けられる環境を提供しています。また、半導体や電子デバイスの製造においても、精密な技術を駆使して未来のテクノロジーを創造しており、さまざまな分野での研究や発展に貢献しています。これらの取り組みを通じて、私たちは人々の暮らしをより豊かにすることをめざし、日夜動き続けているのです。

ヘルスケア分野



検体検査自動化システム

血液検査の結果を迅速に報告し、臨床検査技師の業務効率化や感染防止を目的に、検体検査の自動化を進めています。具体的には、採血管から複数の分析装置用試験管へ自動で分注・搬送するシステムを導入しており、採血管を高速で移送するラインが設けられています。物流施設のように効率的に運用されており、検査を行う際の時間や労力を大幅に軽減しています。これにより、サービス向上にもつながっています。

設計開発拠点：青梅事業所
那珂地区那珂サイト

使用場所：大学病院、総合病院、臨床検査受託企業など



生化学自動分析装置

血液検査装置です。患者負担を軽減するために、非常に少ない量（μL単位）のサンプルで検査を行うことができます。例えば、中性脂肪などの測定が可能です。また、がんや感染症の検査を行う免疫分析装置の設計・開発にも力を入れており、より多くの方に安心して利用していただけるよう努めています。これにより、高精度な検査を提供し、健康管理をサポートします。

設計開発拠点：那珂地区那珂サイト

使用場所：大学病院、総合病院、クリニック、臨床検査受託企業、日本赤十字社の献血検体処理施設など



粒子線治療システム

粒子線治療は、がん治療の一つで、陽子や重粒子といった粒子を使ってがん細胞を破壊します。この治療法は外科手術を必要としないため、体への負担が少ないことが特徴です。粒子線治療を行う施設は年々増えており、特定のがんに対して保険適用も進んでいます。治療照射中は痛みがなく、入院期間も短いことが多いため、患者は生活の質を保ちながら治療を受けることが可能です。

設計開発拠点：柏の葉事業所

使用場所：大学病院やがんセンターなどの大規模病院

半導体装置分野



ドライエッチング装置 (半導体製造装置分野)

この装置は、プラズマやガスを使って不要な膜を削り、目的の形状に加工するためのものです。これにより、数ナノメートルという非常に微細な回路を精密に加工することができます。この技術は、AIやスマートフォン、自動車など、私たちの日常生活で広く使われる半導体の製造に大きく貢献しています。技術の進歩を支え、未来のエレクトロニクスを創造する重要な役割を果たしています。

設計開発拠点：笠戸地区

使用場所：半導体メーカー（世界大手含む）、研究機関など



測長SEM (半導体計測・検査装置分野)

ウェーハ上に形成されたナノメートル単位の微細パターン寸法を正確に測定することに特化した装置です。半導体の性能向上や消費電力の低減には微細化が要求されており、この微細化を実現するためには高精度で安定した計測が必要です。この装置は主に、半導体や電子デバイスの製造ラインで活躍しており、より効率的で信頼性の高い半導体デバイスの製造に寄与しています。

設計開発拠点：那珂地区マリンサイト

使用場所：半導体メーカー（世界大手含む）、研究機関など

電子顕微鏡分野



FE-SEM (超高分解能電界放出形走査電子顕微鏡)

サンプルに電子ビームを照射して、形状観察や元素分析を行う装置です。さまざまな最先端の研究施設で、リチウムイオン電池や食品、細胞、さらには宇宙のサンプルの観察や分析に広く活用されています。特に、宇宙探査機「はやぶさ」が持ち帰った微細な粒子サンプルの解析でも、その力を発揮しました。これらの研究において、精密な観察と分析ができることで、新たな発見や技術革新を支えています。私たちは、この装置を通じて科学の進歩に貢献しています。

設計開発拠点：那珂地区マリンサイト

使用場所：半導体・材料・食品・製薬メーカー、研究機関、小中学校（理科教室）、高専・大学研究室など

職種紹介

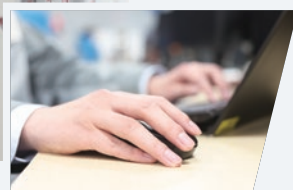
モノづくり・技術開発分野

社内DX推進



高野 勇稀

製品技術管理部
DXグループ
那珂地区那珂サイト
茨城高専
機械・制御コース
2023 年卒業



機械知識を駆使してDX！境界線を越える挑戦

現在は製品技術管理の部門で、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する IT システムの移管プロジェクトに参加しています。具体的には、製造現場や製品開発におけるデジタル化、自動化、データ活用などの支援です。学生時代に学んだ機械制御系のバックグラウンドを活かしつつ、IT 知識を取り入れながら、お客様の製造プロセスの技術導入と業務改善に取り組んでいます。このポジションのやりがいは、たくさんの部門と連携しながら業務を進めるため、その架け橋になれること。設計する人と使う人、双方の想いを理解することで、より業務効率を上げる提案につながり、自分にとっても多様な経験が得られ、成長の機会になっています。

ヘルスケア診断分野

設計開発（エレキ）

富吉 証至

バイオシステム第二設計部
回路グループ
那珂地区那珂サイト
鹿児島高専 専攻科
電気情報システム工学専攻
2017 年卒業



幼き日の好奇心から紡ぐ医療革新

医療装置に使われる電気系設計開発を担当しています。電子部品の基板設計やハーネス設計が主な業務です。現在は遺伝子検査の開発に携わっています。この装置は人の遺伝子を解析することで病気のリスクを事前に知れるようになるものです。やりがいは、自分の携わった製品が、医療現場に出て役立つこと。母が看護師だったため、病院は身近な存在で、そこで見ていたさまざまな医療機器には子供心に興味を抱いていました。子どもの頃から

の夢が叶った気分です。電気回路の設計には「パズルを解くような面白さ」もあります。限られた制約の中で部品を選び、実際に作って動かし、想定通りの動きができた時の達成感は何物にも代えがたいものです。



吉川 恵

医用アプリケーション開発部
分析アプリフロントグループ
那珂地区那珂サイト
長岡高専
物質工学科
2021 年卒業



ヘルスケア診断分野

設計開発（医用分析）

一滴の血液から健康を守る化学・生物系分析エンジニア

ヘルスケア診断部門で医用分析のグループに所属しています。生化学分析装置を操作しながら分析（測定）性能を評価し、新しい試薬を登録する際には試薬メーカーとの連絡や調整を行っています。顧客と関わる機会が多く、顧客のニーズを反映した機能開発や改良、病院の検査室の運用サポート（効率的な検査の支援）にも力を入れています。時には実際に病院へ訪問し、患者さんの検体を使って評価する機会もあります。血液検査装置は精密機器であるがゆえに非常に複雑で、メカ、電気、分析ソフトなど幅広い知識を総動員しながら毎日取り組んでいます。難しい分、課題の原因を特定し、解決できた時の達成感は大きいです。

半導体計測・検査装置分野

生産技術

武藤 伶祐

生産技術部
生産プロセス第二グループ
那珂地区マリンサイト
茨城高専
機械システム工学科
2019 年卒業



課題を解決し、製造現場の未来をつくる

生産技術部で、測長 SEM の製造現場の課題を解決する設備の開発・導入を担当しています。現場の要望をもとに部品搬送の自動化や目視検査の効率化を進め、作業負担の軽減や品質向上を実現するのが私たちの役目です。シンプルな改善なら短期間で導入できますが、特殊な設備だと開発に数年かかることもあります。また最近では、AI 技術の活用にも挑戦中です。導入後も効果確認や不具合対応を行い、設備が安定稼働して生産性向上につながった時は、大きな達成感を得られます。この仕事では、高専で学んだ機械力学や 3D CAD の知識が活かせるほか、製造・設計部門や協力メーカーと連携する力も磨かれます。多くの人と協力して設備を作り上げ、課題を解決できることにやりがいを感じています。



品質保証分野

品質保証



ヘルスケア診断分野

製造

森田 晃平

製造部
医用製造グループ
青梅事業所
金沢高専（現：国際高専）
情報工学科
2013 年卒業

不具合のない装置で、信頼を届ける

海外向けの検体検査装置の製造において、組み立て後の通電検査や性能確認、外観チェック、梱包・出荷までの最終工程を担当しています。一人で機種を受け持ち、医療機器としての厳しい品質基準を満たすために、わずかな異変にも気づける注意力が求められる仕事です。また、新製品の立ち上げや工程検証、作業手順の整備・改善にも携わり、設計部門と連携しながら、より良いモノづくりをめざしています。「不具合は絶対に出さない」という強い気持ちで、一台一台に丁寧に向き合うことが品質を守る第一歩だと考えています。自分が最終確認した装置が、誰かの命を支えているという実感が、日々のやりがいにつながっています。



園部 謙一郎

品質保証本部
評価解析品質保証部
部長
那珂地区マリンサイト
茨城県立勝田高校
普通科
1988 年卒業

製品の品質を守る「最後の砦」

私が担当している品質保証の仕事は、製品が安全で高い性能を持っているかを確認する「最後の砦」のような役割です。電子顕微鏡や半導体の計測装置など、最先端の製品が私たちの担当です。製品の開発段階では「お客様が求める性能を満たしているか」、量産段階では「カタログ通りの性能が出ているか」、製品を出荷した後は「安定して動作し続けているか」といった点をチェックします。この仕事の難しさは、特に半導体計測装置では、お客様が持つ最先端の半導体を測定対象にするため、最初から完璧に動作することが難しいという点です。そのため、お客様と一緒に製品を改良していくプロセスが必要になります。さまざまな部署と連携して製品を完成させた時の達成感は本当に大きいです。

宇井 綾香

医用システム第二設計部
那珂地区那珂サイト

仙台高専
総合工学科
2022 年卒業



\\ 性格 //

人の役に立ちたいという気持ちが強いタイプです。常に会社全体が円滑に回ることをいつも意識しています！

自分がハブとなり、人と技術をつなげたい。

現在は医用システム第二設計部で、自動分析装置の機構系設計を担当しています。主な業務は、すでに世に出ている製品の安定供給を支えること、またこれから世に出る製品の安定供給を支えることです。具体的には、製品の改良や部品調達に関わる問題の解決、生産現場からの技術的な問い合わせ対応などを行っています。

担当している免疫分析装置は、血液などの検体から微量な物質を高感度で検出する機器。がんマーカーや感染症の有無を調べるため、測定精度が患者さんの診断に直結します。そのため、どんな小さな変更でも慎重に検証する必要があります。例えば、製造方法を作りやすくするという変更をした際も、部品の強度や実際の動作確認といった安全性や製品への組み付け後の機能はもちろんのこと、品質保証部門の承認、サプライヤーとの調整、さらには関連文書の変更など、多岐にわたる検証を経て実施しました。

医療機器の製造は薬機法などの規制により簡単に仕様変更できないのが特徴です。そのような課題を乗り越え、患者さんの診断に貢献できる製品を世に出せることに大きなやりがいを感じています。

将来的には、多くの技術者を結ぶ「ハブ」になりたいと思っています。自分一人ではできないことには限界がありますが、人と人をつなげることで、大きな課題が解決できると思っています。今は、なるべく生産現場に足を運んで、多くの人とコミュニケーションを取るように心がけています。



人と技術をつなぐ、ハブのような存在になりたい

幼い頃から持ち続けた、2つの情熱。

幼い頃から、父の影響でモノづくりに親しんできました（例えば小学生の時には炎色反応の自由研究をしたり、中学生ではICを使った回路づくりに挑戦したりなど）。

一方で、幼い頃から体が弱く、通院が多かったこともあり、優しく元気づけてくれる看護師さんや放射線技師さんへの憧れもありました。また、親族に医療関係者もいたので、仕事のやりがいや難しさを聞く機会が多い環境でした。

そんな背景があり、高専で学んでいく中で、自分の工業的な知識を活かしながら医療に関わる仕事がしたいと思うようになりました。面接を通じて医療機器の設計ができることや、ジョブマッチングで希望部門に配属される点に安心感を抱き、日立ハイテクに入社することを決意。特に私は「モノづくりの上流側」に関わりたかったので、設計部門に入れるという点が大きな魅力でした。内定をいただいた時は「ここで自分のやりたいことができそうだな」と思いました。

好きな会社の制度など

ジョブマッチング

入社前に希望する事業分野が決定するジョブマッチングです。私は医療機器の分野に携わりたいと強く希望していたので、内定時に配属先が既に決まっていたことは大変心強く、安心して入社することができました。



趣味

最近は車の運転が好きでドライブがてら色々な場所に行っています。自分のペースで景色を見ながら、走ることがリフレッシュになっています。学生時代から続けてきたモノづくりの趣味も、時間がある時に楽しんでいます。

“違和感”に気づく目が、モノづくりを支える

最終工程に込める、責任と誇り。

私は就職活動中に、日立アロカメディカル（現在の医用機器を手がける部門の前身）でインターンシップを経験し、医療分野に関わる製品づくりの魅力に触れました。職場の雰囲気や働く人たちの姿勢にも惹かれ、「ここでなら自分も成長できる」と感じて入社を決めました。

現在は、海外向け検体検査装置の製造部門で、組み立てられた装置の通電検査・性能確認・梱包・出荷までを担当しています。一人で一機種を任されるスタイルで、出荷前の最終工程を担う重要な役割です。

検査業務では、マニュアルに沿って進めるだけでなく、“違和感”に気づけるかどうかが重要です。例えば音の鳴り方が微妙に違う、外観の仕上がりなどが他と異なるなど、小さな異変を見逃さない注意力が求められます。さらに、検査手順や指示に改善の余地を見つけた際は、設計部門と連携して仕様の見直しなどの提案を行うこともあります。一つひとつの業務の意味を理解し、より良い形を追求する姿勢を大切にしています。



好きな会社の制度など

子育て支援制度（育児休暇）、休暇のとりやすさ

私自身も育児休暇を取得しましたが、男性の取得率も高く、子育て支援の制度がしっかり整っているのはとても心強いです。夜勤がなく、休暇も取りやすい今の働き方は、家族との時間を大切にできる環境だと感じています。

趣味

最近の趣味といえば、やはり子育てになりますね。3歳になる息子と過ごす時間が休日の楽しみです。一緒に電車や車を見に出かけることが多いのですが、息子が目を輝かせて喜ぶ姿を見ると、私もとても幸せな気持ちになります。息子と共に過ごすひとときが、私の休日をより豊かにしてくれていると感じています。

森田 晃平

製造部
医用製造グループ
青梅事業所

金沢高専（現：国際高専）
情報工学科
2013 年卒業



\\ 性格 //

慎重に物事を考える性格で、「やりたい」と思ったことでも、まずはしっかり調べてから行動に移すタイプです。

品質も環境も、自分たちの手で育てる。

これまでさまざまな装置に関わる中で、新製品の立ち上げや工程検証といった業務も経験してきました。現在では、新規製品の製造プロセス検証を主担当として進めており、自ら設計部門とやり取りしながら手順の整備や改善提案を行っています。最近では、装置検査時の作業姿勢に注目し、しゃがんだり腰を曲げたりといった負担を減らすための改善活動にも取り組んでいます。目線の高さに合わせて作業ができるよう、装置を持ち上げる専用設備の導入を周囲と検討中です。予算や工程も関わる内容ですが、「やりたい」と声を上げれば、実現に向けて動ける環境があるのは当社の魅力だと感じています。

また、2025年度からは新入社員の指導員も担当することになりました。業務内容を教えるだけでなく、早く職場になじめるように日々の声かけやコミュニケーションも意識してサポートしていきたいと思っています。

提案に耳を傾けてもらえる風土と、それに応えてくれる仲間がいることが、挑戦するモチベーションにつながっています。これからも周囲を巻き込みながら、自分自身も後輩と一緒に成長していけるような働き方を続けていきたいです。



位田 直弥

解析制御システム設計部
共通技術グループ
那珂地区マリンサイト

沼津高専 専攻科
総合システム工学専攻
2024 年卒業



\\ 性格 //

フレンドリーで裏表がないタイプです。わからないことがあればすぐ先輩に質問しています。ありがたいことに、いやな顔一つせずに丁寧に質問に答えてくださり、環境に恵まれているな…と日々感じています。

休日の過ごし方



友人と遊んだ帰り道



桜を見にドライブ

「わからない」が「できる」に変わる職場。

私は電子顕微鏡の電気系設計を担当しています。基板やケーブルの設計が主な仕事で、作ったモノの評価も行っています。入社当初は電気の専門知識が足りないと感じることもありましたが、わからないことがあれば、すぐに先輩に質問できる環境のおかげで、日々の業務を通して着実に成長していると実感しています。何でも気軽に「教えてください」と言える環境が、日立ハイテクの魅力の一つだと思います。業務時間中は集中して仕事に取り組み、昼休みには同僚と雑談を楽しむなど、メリハリをもって働いています。

将来の目標は、高級車に乗れるくらいの収入を得ることです！今の車のローンが終わったら、次の車に乗り換えたいと考えていて、それが直近の目標です。職場では人間関係を大切にしつつ、仕事をきちんとこなす。そんなシンプルな姿をめざして日々頑張っています。

自分に正直に、そして素直に学べば、結果はついてくる

自分らしい選択で、巡り会えた最高の環境。

日立ハイテクとの出会いは、学校の先生からの紹介がきっかけです。就職活動中、先生から「日立ハイテクという会社があるけど、応募してみない？」と声をかけてもらい、興味をもちました。

学生時代に現場系・接客業などのアルバイトを経験して、体力が必要な仕事は長く続けるには自分には難しいと感じました。そこで就職活動では、「現場系の仕事ではないこと」と「接客業以外」の二つを条件にして企業を探していたところ、日立ハイテクが自分の希望に合っていると感じ、応募しました。

面接を受けた後から本格的に会社のことを調べ始めましたが、調べるほどに自分の希望に合っていて働きやすそうだと感じましたね。自分の求める条件を大切にしたい選択が良い結果につながったと思います。日立ハイテクでは給与面でも満足していて、趣味の車を買うこともできました。さらに、職場の人間関係も良好で、良い環境に巡り会えたことに感謝しています。

趣味

車が好きで、全般的に興味があります。現在も車を所有していて、次はもっと高級な車が欲しいと思っています。車のローンがあることで「働こぞ！」という気持ちになるので、次の車のローンも考えているんです。自分を追い込むのに役立つ趣味ですね（笑）



好きな会社の制度など

社内のファミマ&給与水準の高さ

会社内にファミリーマートがあるのが便利です。あとは給与水準も良いと思います。車が好きな私にとって、好きな車を買うためにローンを組めるのは大きなポイントです。高級車を買いたいと考えていますが、5年間貯金をしたら買える気がします。日立ハイテクなら欲しい車も購入することができそうです。

一歩ずつ、自分の設計で未来を描く

“好き”を活かせる場所を求めて。

中学校の技術の授業でハンダづけやラジコンカーを作った経験から、モノづくりの面白さに目覚めました。高専では電子機械工学を学び、回路設計やプログラミング、機械加工など幅広い分野に触れる中で、「将来は自分の手で何かを作る仕事がしたい」という気持ちが次第に強くなっていきました。

就職活動の際は、「落ち着いた環境で暮らしながら、最先端のモノづくりに携わりたい」と考えていて、日立ハイテクの求人を見つけたのは、まさにそんなタイミング。半導体製造装置に関われる点に魅力を感じたのはもちろん、実際に働いている先輩から「若手でも早くから仕事を任せてもらえて、成長の機会が多い」と聞いたことでさらに興味を持ちました。安心して働ける雰囲気と、技術に真剣に向き合える環境。両方が揃っている環境でチャレンジしてみたいと思い、入社を決めました。

好きな会社の制度など

Active 20-20 支援金

キャリア開発支援として年3万円までの各種費用補助制度です。在宅勤務に必要な機器や自分が勉強したい分野の書籍購入、通信教育の費用などに活用している人が多いです。私は英語の勉強のため、単語帳や文法書を購入して、自己啓発に役立てています。

趣味

趣味はスポーツ観戦で、休日にはよくテレビでバレーやラグビー、バスケットボールの試合を楽しんでいます。試合を観るたびに、新たな発見があり、選手たちの熱いプレーに感動します。そんな時間が日々の活力になっています。

感王寺 優香

プロセス装置設計部
製品設計グループ
笠戸地区

大島商船高専
電子機械工学科
2022 年卒業



\\ 性格 //

「本当にこれでいいのかな」と何回も確認するくらい、慎重な性格です。特に手配・発送関係は間違いがないよう丁寧に確認することを大切にしています。

答えのない課題に、向き合い続ける。

現在は、半導体製造装置の一つであるエッチング装置のメカ設計を担当しています。海外の現地法人と社内の設計部門をつなぐ立場として、不具合や改良要望に対する検討・対応を行うのが主な業務です。例えば、装置の動作不良が起きた際には、社内のデモ機を使って現象を再現し、原因を探ります。プロジェクトごとに検討・試験・評価の工程を繰り返すので、2〜3か月かかることも珍しくありません。

昨年は初めて、デモ機の追設という業務も経験しました。仕様を検討し、必要な部品を選定・手配、実際の組み立てまで関わったことで、装置全体の構造や流れを深く理解できるようになりました。決まった答えがないからこそ、自分で考え、周囲と相談しながら進めていくことにやりがいを感じています。

今後は、先輩のサポートがなくても業務を進められるようになることが目標です。そしていずれは、後輩の良き相談相手になれるよう、日々の業務を通じて着実に力をつけていきたいです。

休日の過ごし方



愛媛県今治市のタオル美術館へ



イベントに来ていたキッチンカーでお買い物♪

溝口 祐介

医用品質保証部
那珂地区那珂サイト岐阜高専
電気情報工学科
2013 年卒業

\\ 性格 //

周りからは主体的な行動が少ないとよく言われますが、一度任されたことは絶対に手を抜かないタイプです。どんなに難易度の高い任務やプロジェクトでも絶対に期待に応えようと最後まで諦めずに粘り強く挑み続けます。

“得意”を追求したほうが、
将来の可能性は広がる「やるなら得意なことを」中学時代の決断が
今につながる。

私は将来の進路を中学生の時に決めました。普通なら「将来の可能性を広げたい」と考えるところを、あえて「いま得意なことを突き詰めた方が、将来の仕事につながりやすいのでは」と考えて高専を選んだんです。オープンキャンパスに行った時も、この考えに基づいて岐阜高専をめざしました。先に高校進学していた兄のアドバイスもあり、早めに専門分野を決めておこうと思ったんです。

就職活動は、企業からの推薦枠があり、自分から希望を出せるシステムでした。その中でも「日立」は CM などで知っていましたし、「有名な企業だね」という周囲の認知度の高さや広く事業を展開する会社だということに魅力を感じました。

入社時は日立の他のグループ会社に入社して、電気設計を担当。2020 年に日立ハイテクに出向して、2 年後に正式に転籍しました。「得意なことに絞って突き詰める」という考えでやってきたつもりでしたが、日立グループを選んだことで、結果的にさまざまな事業に関わり、自分の可能性を広げられているなと思います。

品質保証は“最後の砦”。

現在は医用品質保証部で検体搬送システムを担当しています。具体的には、患者さんから採取した血液などの検体を前処理して分析装置に送るシステムです。私たちが扱うのは分析装置に入るまでの工程で、例えば血液を遠心分離し、必要な量を分注するモジュールを担当しています。このシステムのおかげで、検体処理の自動化により人為的ミスが減少し、検査の精度向上と結果報告までの時間短縮が実現します。これは患者さんの診断をより早く正確に行えることにつながり、病院の臨床検査技師の業務効率化にも貢献しています。

この仕事は、製品が設計通りの機能を果たせるか、安全に使えるかを確認する「最後の砦」のような役割です。部品が入手困難になった時に代替品を使うケースや、病院ごとの要望に合わせたカスタマイズをする時など、「この変更で問題ないか」をチェックします。人の命に関わる機器なので、どんな小さな変更でも慎重に検証する必要があります。

日立ハイテクの魅力は、高専出身だからといって現場止まりではないところ。私自身、電気設計、品質保証と経験して、来年からはフィールドサービスを担当することになりました。さまざまな部門を経験することで「この人は設計の気持ちも知っている」「品質保証の考え方も理解している」と言われるような、多方面に精通した人財になりたいと思っています。

将来的には管理職をめざす気持ちもありますが、まずは技術者として幅広い経験を積むことが大事だと考えています。日立ハイテクは学歴よりも実力で評価してくれる会社なので、やれるところまでやってみたいです。



好きな会社の制度など

リモートワーク制度

子育て世代の私にはすごく助かっています。前の職場では CAD など専用機器が必要で出社が必須でしたが、今は月に数回在宅勤務ができて、子どもとの時間が増えました。子どもの体調不良で急に「明日在宅で」という時も臨機応変に対応していただけるので子育て世代に働きやすい環境です。

趣味

アロマテラピーが趣味です。「心が落ち着く」という同僚の話を聞いて興味を持ちました。実は資格も持っています。試験会場に行ったら女性ばかりでびっくりしました（笑）。今では家でアロマを焚いたり、会社のデスクに置いて香りを楽しんだりしています。



Special Interview

高専出身者が語る

海外駐在の魅力

本科卒で米国駐在
日立ハイテクには可能性しかない

苦手だったプログラミングが、今は大好きな仕事に。

高専に入学したのは、両親の勧めがきっかけでした。元々は野球部で、スポーツ推薦で高校に行くことを考えていましたが、それが叶わず、両親の勧めに従って入学しました。情報工学科を選んだのも父の「IT の時代だから将来性がある」という助言があったからです。正直なところ、学生時代はプログラミングが苦手で、卒業までずっと「プログラミング関係の仕事は嫌だ」と言っていました。

就職活動では、「海外で活躍したい」「人と関わる仕事がしたい」という気持ちから、日立ハイテクを志望しました。ですが、配属されたのは評価ソフトウェア設計部。まさに避けていたプログラミングの仕事で、最初は「これは大変だ」と思いましたが、研修が非常に充実していたので基礎からじっくり学べ、苦手だったプログラミングに対しても前向きに臨めました。実際に仕事を始めると、学生時代のプログラミングと違って画像処理という特定分野に特化できたことや、既存のプログラムを組み合わせることで効率的に開発できたことで、徐々に苦手意識がなくなってきました。今では顧客の要求をいち早くツール化することはもちろんのこと、自分の業務を効率化するツール作成も楽しくなり、ソフトウェアエンジニアは天職だと思うほど好きになりました。

趣味

筋トレが大好きで、日本ではコンテスト（メンズフィジーク）にも出場していました。アメリカに来てからは国内旅行も楽しんでいます。ロサンゼルスのマッスル・ビーチことベニスビーチを訪れるほか、サンディエゴやラスベガスなど各地を巡っています。アメリカでもジムは欠かさず通い、今年は現地のコンテストにも挑戦したいと考えています。



信頼を重ね、日米の架け橋になりたい。

現在はアメリカに駐在し、半導体メーカーのお客様先で当社製品のサポートを行っています。駐在の経緯は、私が担当していた製品が米国のお客様に導入されることになり、現場での評価とサポートが必要になったからです。具体的な仕事としては、半導体の回路パターンを計測・検査するための電子顕微鏡（SEM）を使って、お客様の要望に応じた画像処理や解析をしています。例えば「このパターンの線幅を測定したい」「このデータでこんな結果を出せないか」という要望に対して、現地で画像処理を試し、最適な方法を提案し、システム設計をしています。また、その結果を当社製品に反映させるためのシステム設計とソフト設計も行っています。

自身が日本で開発に関わった計測・検査装置がどのように使われているかを現地で直接見られることがこの仕事の面白さだと思います。開発者が想像していた使われ方と、実際の現場での使われ方にはギャップがあることも多く、そのリアルな声を聞けるのは貴重な経験です。また、世界の半導体産業をリードする方々と一緒に仕事ができることも大きな魅力です。学会など

蔭谷 竜吾

半導体計測・検査装置分野
評価ソリューション開発部 米国駐在大島商船高専 情報工学科
2018 年卒業

好きな会社の制度など

評価制度・キャリア支援

若いうちから海外で活躍できる機会があることが魅力です。技術力や可能性をきちんと見てくれて、年齢や学歴に関わらずチャンスを与えてくれる環境があります。私自身、高専卒で入社して数年でアメリカ駐在の機会をいただきました。



性格

一言で言うと負けず嫌いです。学歴や経験に関係なく、常に高い目標に挑戦したいという想いを持っています。スポーツをやっていたので、努力は嫌いではありません。成長することに喜びを感じるタイプだと思います。

で高度な専門知識を持つエキスパートと意見交換をしたり、会食へ行ったりする機会もあり、夢のような経験ができています。将来的には、日本とアメリカの「窓口」になりたいと考えています。お客様の要求を正確に理解し、ギャップなく製品に反映させること。そして技術面だけでなく、信頼関係を築いて「蔭谷だからこそ本音で話せる」というようなポジションになることが理想です。アメリカでの経験を活かして、より良い製品開発に貢献していきたいと思っています。現地での経験は、私にとって学位以上に価値のあるものだと思っています。



田内 勤

半導体製造装置分野
プロセスシステムセンタ
センタ長
笠戸地区徳山高専 機械電気工学科
1994 年卒業

入社から今までのキャリア

1994年に日立グループの設計部門に入社後、メカ設計を担当。2000年には新装置開発プロジェクトに参画し、その後も複数の開発に携わる。2007年に日立ハイテクへ移籍し、2015年から3年間、米国オレゴンでの駐在を経験。帰国後は開発・設計部門の部長を歴任し、現在はプロセスシステムセンタ センタ長として DX推進等の設計サポートに尽力。

「できる方法」を探し続けて。

これまで多くの新装置開発に携わり、社会を支えるモノづくりに関わってきました。転機は課長としてマネジメントに挑戦したこと。それまで自分の担当範囲に集中していた私にとって、チームをまとめる難しさは予想以上でした。

そこで、自席にテーブルとお菓子を用意して気軽に話せる場をつくることで、少しずつ対話が生まれていきました。技術だけでなく、人と向き合う力も問われると実感した瞬間です。

2015年からの3年間は、米国オレゴンでの駐在も経験。現地で設計体制を整える中で、文化や働き方の違いに向き合い、信頼関係を築いていった経験は、大きな成長のきっかけになりました。現在はプロセスシステムセンタ センタ長として、設計者が快適に働ける環境づくりに取り組んでいます。自動化や業務の効率化など DXを推進し、“つくる人を支えるしくみ”の整備がミッションです。

入社時は設計課長くらいまでのキャリアを思い描いていましたが、ここまで多様な経験ができるとは想像していませんでした。評価されるのは「やり遂げる姿勢」。失敗しても立ち止まらず、「どうしたらできるか」を考え続けることが、私のキャリアを支えてきた一番の力だと思います。

“手を動かす”から、
“しくみを動かす”へ

つくる喜びが、キャリアの原点。

入社当時、私は「メカ設計がやりたい」という一心で、日立グループの設計業務を担う会社に入りました。きっかけは、高専時代に日立グループから来られていた先生の紹介で訪れた工場見学。目の前に広がる大きな装置を見て、「こんなにすごいモノを作れるのか」と圧倒された記憶は今も鮮明です。

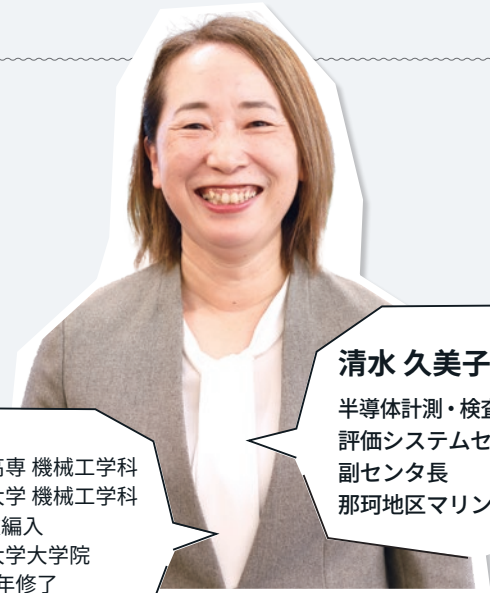
その先生は、学問だけでなく“モノをつくること”の本質を教えてくださいました。設計ではどんなことを考えるべきか、実践を通じて叩き込まれた経験が、今も私の土台になっています。

入社6年目に新装置の開発プロジェクトに加わり、未知の領域へ踏み出しました。図面通りではなくゼロから形にしていくなかで難しさと面白さ、「自分のアイデアが形になり、世の中に出ていく」その喜びを初めて体感しました。

当時の半導体業界は成長まっただ中。スピード感ある開発の中で試行錯誤を重ね、完成品をお客様に届けた時の感動は、今も忘れられません。スマートフォンやタブレットに使われる半導体を通して、社会に貢献できている実感が、設計者としての原動力になっています。

ステップアップしていく中での
考え方の変化

設計者の頃は、目の前の課題に対して「どうやって形にするか」を追っていました。管理職になってからは「どうやって周囲の力を引き出すか」へと意識が変わりました。技術だけでなく、人の動きや職場全体の流れに目を向けるようになったことが、視野の広がりにつながっています。

進学して
日立ハイテクへ

清水 久美子

半導体計測・検査装置分野
評価システムセンタ
副センタ長
那珂地区マリンサイト茨城高専 機械工学科
茨城大学 機械工学科
3 年次編入
茨城大学大学院
2000 年修了性別やライフステージに縛られない
働き方ができる場所。

日立ハイテクは、多様な働き方を支援する制度が充実していると感じています。特に印象的なのは、コロナ前から導入されていた在宅勤務制度です。体調不良などの理由があれば柔軟に対応してもらえ、チームのメンバーが利用した際には働きやすさに大きく貢献していました。また、私自身が活用したのが海外赴任に伴う配偶者休職制度です。2018年から2年間のアメリカ出向の際、同じ会社に勤める夫が休職して同行してくれました。この制度のおかげで、キャリアを中断することなく海外での貴重な経験を積むことができました。さらに、コアタイムのないフレックス制度も大変助かっています。自分で仕事の時間を柔軟に調整できるため、プライベートと仕事の両立がしやすく、効率よく働くことができます。

社内を見渡すと、結婚や出産後も働き続ける女性が多いのも特徴です。これは制度の充実だけでなく、周囲の理解が高いからこそだと思います。私自身、困っているチームメンバーには積極的に制度を紹介し、離職ではない選択肢を一緒に考えるよう心がけています。

趣味

ゴルフや近くの公園での散歩など、自然に触れ合うことが好きです。自然の中で過ごすことで、心身ともにリフレッシュし、新しいエネルギーを得ることが私の活力につながっています。

たくさんの人に支えられてきた
だから次は私が支えたい

サーバントリーダーとして、チームを影で支える。

中学生の時に機械工学に興味を持ち、高専から大学への3年次編入、さらに大学院へと進学して一貫して機械を学んできました。日立に入社したのは、半導体計測装置という最先端技術に携われることに魅力を感じたからです。

入社後はソフトウェア開発からスタートし、最初は5人程度の小さなチームを任されていたが、数年後には60人規模のプロジェクトを率いることになりました。正直、初めて大きなプロジェクトを任された時は自信がなく失敗も経験しましたが、チームの協力があって乗り越えられました。この経験を通じて「サーバントリーダー」をめざすようになり、チームを影で支えることを、より意識するようになりました。キャリアアップは上司からの推薦で進み、課長職になった時は「自分にできるだろうか」と不安でモチベーションが下がったこともありましたが、でも「任された以上はやるしかない」と挑戦し続けた結果、現在は副センタ長として責任ある立場に。振り返ると、会社から与えられた機会を前向きに受け止め、周囲の支えを大切にしながら、一步步つづきキャリアを積み重ねてきたと感じています。



Career path

キャリアパス

2000 年	日立製作所入社。ソフトウェア設計部に配属され、半導体計測装置の制御ソフトウェア開発を担当。
2001 年	分社化により日立ハイテクノロジーズ（現：日立ハイテク）に所属変更。引き続き半導体計測装置のソフトウェア開発に従事。
2005 年	プロジェクトリーダーに就任。60 人規模のチームを率い、ハードウェア設計部門との連携や外部ベンダーとの調整も担当。
2013 年	課長職に昇格。製品コンセプトや予算管理など、より広い視野での責任を担う。プレイングマネージャーとして技術面でも貢献。
2016 年	統括主任技師に就任。複数の課長を統括し、組織づくりやチーム編成、設備投資計画などを担当。
2018 年	アメリカに2年間出向。現地のお客様との直接対話を通じて、製品開発へのフィードバックを日本の開発部隊に伝える役割を果たす。
2020 年	日本に帰国後、統括主任技師として元の職場に復帰。組織運営やチームの取りまとめを担当。
2022 年	評価システムセンタに異動し、副センタ長に就任。現在に至る。

理科教育支援活動

科学の未来のために、好奇心の種を蒔く



近年、先進国を中心に将来の学術や研究分野を担う理系人財の不足が懸念されています。そこで当社では、自社製品である卓上型電子顕微鏡を活用した理科教育支援活動を行っています。小中学校への出前授業や、科学館との共催イベント、教育機関への装置貸与等を通じて科学の面白さを児童や生徒たちに伝えています。活動を開始した2005年から2024年度末までに、31の国・地域の48万人を対象に活動を展開しました。

ロボコンへの特別協力



▲ 2024年に開催された
高専ロボコンの様子 ▼

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト（高専ロボコン）とは？

高専ロボコンは、全国の高専に在籍する学生が、自作のロボットを使って競技に挑む文部科学省後援のロボットコンテストです。1988年から毎年開催され、チームで創意工夫や技術力を競います。テーマに応じた課題をロボットで解決することで、プログラミング、機械設計、制御といった多様な技術を実践的に学ぶ場となっており、NHKでの放送を通じて多くの注目を集めています。

正式名称である「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」が示す通り、アイデアを重視する精神が高専ロボコンの大きな特徴です。順位や勝敗だけでなく、「ロボコン大賞」という創造性を評価する特別な賞が設けられており、これにはロボコンの父・森政弘先生の理念が込められています。勝敗を超えた「非価値」の精神を通して、学生たちの発想力や創造性をより豊かにする場として進化し続けています。



▲ 2025年度入社の三野 航太さん
(米子高専出身)も出場しました！

未来のエンジニアを応援！ロボコンに込めた想い

私たちは、高専ロボコンへの特別協力を通じて、モノづくりの世界を支える未来のエンジニアたちの挑戦を応援しています。技術革新のスピードが加速する現代において、自ら考え、試行錯誤し、形にするというプロセスを経験することは、次世代の技術者にとって非常に重要な学びの機会です。特に、高専生たちが限られた時間と資源の中で創意工夫を重ね、独自のアイデアや技術を実現する姿は、私たち企業にとっても多くの刺激となっています。

このようなチャレンジを支えることは、単に大会を盛り上げるだけでなく、将来を担う優秀な人財の育成や、日本のモノづくり力を次世代へとつないでいくうえで、非常に価値のある取り組みだと考えています。彼らの挑戦が新しい発想や技術の芽となり、やがて社会全体の発展に寄与していくことを期待しています。私たちは、これからも技術と情熱を持った若者たちの成長を、全力で応援していきます。

高専ロボコンに挑む皆さんの、その飽くなき探求心と創意工夫。

その熱意と経験を、ぜひ日立ハイテクで活かし、**未来のモノづくりを共に切り拓く仲間になりませんか。**

Active 20-20 Project

Active 20-20

01

働き方改革「Active 20-20(ニーマルニーマル)」とは？

「Active 20-20 (ニーマルニーマル)」は、働きやすい環境をつくるための取り組みの一つです。もともと2015年に始まった「Challenge 20-20」では、**月の残業時間を20時間以下にすること、有給休暇を20日取得すること**を目標にしていました。その後、2019年からは「働き方をもっと良くしよう」という考えのもと、「Active 20-20」がスタートしました。この新しい取り組みでは、**短い労働時間**だけでなく、**多様な働き方・コミュニケーション・心と体の健康**を重視し、社員がより幸せに働ける環境をめざしています。

Active 20-20

02

「Active 20-20」ではどんなことをしているの？

この改革では、社員が無理なく働けるように、さまざまな工夫をしています。

労働時間を減らす工夫



- 会社全体で**残業時間を減らす**取り組みを実施
- **定時退社日**をつくり、館内放送や見回りで促進

働き方の自由を広げる



- **ハイブリッドワーク**（オフィス勤務とリモートワークの組み合わせ）の推進
- **フレキシブルな働き方**（働く時間や場所を柔軟に選べる制度）

社員のスキルアップを支援



- 「**Active 20-20 支援金**」（1年間で最大3万円）を活用し、**資格取得や研修参加をサポート**
- 仕事に役立つセミナーや研修（**ワークライフバランス・ストレス管理・自己成長**など）を実施

健康・ストレス管理のサポート



- **ストレスチェック**やマインドfulness瞑想体験
- 睡眠や心理的安全性について学ぶ**講演会の開催**

社内の意識改革



- メールや会議の**マナーのルール化**
- 社長メッセージや社内報を通じた**意識向上**

Active 20-20

03

「Active 20-20」でめざす未来とは？

この改革の最終的な目標は、**社員が幸せに働ける会社をつくること**です。会社の成長には、社員一人ひとりが元気で、やる気を持って働くことが大切です。そのために、「Active 20-20」では、働く時間を減らすだけでなく、**自分に合った働き方を選べること、職場のコミュニケーションが円滑であること、心と体の健康が守られること**を重視しています。

2024 年度実績

平均残業時間

21.6 時間

有給休暇の
取得

17.9 日

今後も、より良い働き方を追求し、**社員が「いきいき」「わくわく」働ける職場**をめざしていきます。

ずっと住みたい街

茨城で働く

濱田 将平

半導体計測・検査装置分野
評価ソフトウェア設計部
電子線検査装置グループ
那珂地区マリンサイト
釧路高専 専攻科
電子情報システム工学専攻
2015年卒業

おススメスポットや周辺の魅力

スタミナ冷やしに常陸秋そば。地元グルメに舌鼓

ひたちなか市の魅力といえば、まずひたち海浜公園ですが、一番忘れてはいけないのはグルメです(笑)。スタミナラーメン、特にスタミナ冷やしは各店で味が違うので食べ比べも楽しいです。海鮮ではメヒカリの唐揚げがおすすめ。さらに、常陸秋そばは秋に食べると感動するほど美味しく、年越しそばも常陸秋そばを選んでいいます。あとは勝田駅から海浜鉄道に乗るのも楽しみの一つです。車とは違う景色が楽しめますし、阿字ヶ浦駅からほしいも神社に行き、名物の干し芋を買って帰るという小旅行も良いですよ。

茨城で働こうと思ったキッカケや理由

「釧路に似ている」と父も太鼓判の地元感

私は北海道の海沿いの町で育ったので、東京のような混雑した場所は避けたいと考えていました。就職活動中にひたちなか市を訪れた時、釧路に似た雰囲気を感じたんです。人口規模も街並みも、昭和通りなどの地名も似ていて、すごく親近感が湧きました。実際に父も「釧路に似ている」と言っていました。さらに、茨城は暑すぎず雪も積もらないので、北海道育ちの私にとって過ごしやすい場所。海もあるし、海鮮も美味しいし、引っ越してきて10年経った今でもここを選んで良かったと思っています。



ひたち海浜公園は
お決まりの
散歩コースです！



水戸駅前はお店や施設が
充実していて、とても賑やか！



ROCK IN JAPAN FESTIVAL
(in HITACHINAKA) に参戦しました！



ひたち海浜公園のネモフィラ畑

ずっと住みたい街

山口で働く

山口で働こうと思ったキッカケや理由

大好きな街で、興味ある分野に挑戦

地元の山口が大好きで、家族や友人などこれまで築いてきたコミュニティを大切にしています。だからこそ、慣れ親しんだ場所で働きたいという想いがありました。就職活動中はコロナ禍で半導体不足が話題になっていた時期。そんな中、日立ハイテクが半導体製造装置を開発していると知り、地元に関心があった半導体分野に挑戦できることに魅力を感じました。



美しい桜の景色も楽しめる
長門湯本温泉

社会人になってから始めたスノボ！
まだ経験は2年ほどで初心者です！



バンドが好きで、毎年フェス
に行くようにしています。
これは昨年度山口県で
行われたフェスです！



昔からバスケットをやっていて、
最近プロのバスケット観戦にも
ハマっています！

住みよい環境



下松市は
20年連続で
山口県内 **1位**

さらには全国812市区中、8位、中四国では2位
となる順位です。

参照：週刊 東洋経済 臨時増刊 都市データバック 2025年版
「住みよさランキング 2025」より

井上 奨太

半導体製造装置分野
プロセスソフトウェア設計部
システム制御ソフトグループ
笠戸地区
徳山高専
情報電子工学科
2023年卒業

おススメスポットや周辺の魅力

ドライブして見つける山口の 穴場スポット

同期や友人とは、よく温泉や食事に出かけます。なかでもお気に入り「くだまつ健康パーク」。温泉はもちろん、マンガコーナーもあって1日過ごせるのが魅力です。グルメも、車で少し足を伸ばせば、メディアにも登場する人気店があり、名物メニューを味わえます。気軽に楽しめるスポットが多いので、ドライブ好きな方にはぴったりの環境です。

那珂地区那珂サイト&那珂地区マリンサイトを紹介！



那珂地区マリンサイト外観



通勤専用バスも
あるので
アクセスも◎



カフェのようにおしゃれな食堂



自慢の美味しいランチ！



那珂地区那珂サイト外観



オフィス内に
ファミマも！

Ibaraki

社内コミュニティ

10の部活動があり、それぞれの活動をエンジョイできます。はじめて茨城にきた社員も部活動を通じて友達を作っていることも多いです。

プライベートの
挑戦も思い切り
楽しんでいます！



所属や役職の枠を
飛び越えてスポーツに
熱中しています！

家族同士のつながり
も増えて休日が増え
ます楽しみに♪



運動部



剣道部



陸上部



パンポン部



バレー部



ゴルフ部



山岳部



バドミントン部



テニス部

文化部



吹奏楽部



アマチュア
無線部

笠戸地区を紹介！



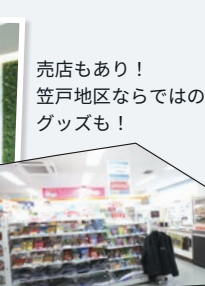
笠戸地区入口



ライトアップされた夜の徳山駅



新施設のロビーの広さに圧巻！



売店もあり！
笠戸地区ならではの
グッズも！



バスケットコートやフットサルコート、
パンポンコートも事業所内に
あります！

Yamaguchi

VOICE



実際に住んで感じたのは、**地方ならではの快適さと、適度な利便性が、両立されている点です。**近所の大型スーパーは、品揃えが豊富ですし、車で30分行けば、家具や衣料品まで一通り揃う大型商業施設があるのも便利です。



基本的に道路は渋滞も少なく車移動も楽ですし、新幹線の駅も近くにあるので、旅行や帰省にも便利な立地です。**近隣には小中学校も多いので、家族連れの方も安心**だと思います。



会社の近くにある笠戸島は、**休日のレジャーに最適！**私はよく釣りをしに行きますが、キャンプ場もあるのでアウトドアが好きな方にはおすすめです。



近所には日立グループの方が多く住んでいますし、**普段から他部署との連携も多い仕事なので、すぐに知り合いができたのも**快適に過ごせている理由の一つ。日常的な利便性を備えながら、自然を存分に楽しめるので**子育て環境にもよいと思います！**

キャリア開発支援

新入社員研修



新入社員向けに約2か月間の研修プログラムを実施しています。このプログラムでは、ビジネスマナーや職場の紹介、情報セキュリティ教育など、会社生活を送る上で必要な基本的な内容を学びます。また、製造現場での実習も行い、エンジニアとして重要な現場理解のスキルも養います。研修を通じて、社員が自信を持って業務に取り組めるようにサポートし、実践的な知識と技術を身につける機会を提供しています。さらに、現場での実体験を通じて、業務の流れやチームワークの大切さも学んでいきます。

若手海外派遣



グローバルな視点でビジネスに柔軟に対応できる人財の早期育成をめざし、若手社員の海外派遣に積極的に取り組んでいます。1年間の海外研修制度や社費留学制度を利用し、実際のビジネス環境で異文化コミュニケーションや国際ビジネスを学びます。これにより、語学力や専門知識を向上させ、帰国後は国際的な競争力を持つエンジニアやビジネスパーソンとして成長します。

博士号取得支援制度



高度な最先端技術や専門知識を持つ社員のキャリア開発を支援する制度です。社員が業務を優先しながらも、博士号の取得をめざす際のサポートを行います。具体的には、学費の半額を会社が負担することで、教育や研究に集中できる環境を提供し、専門的なスキルをさらに高められるよう支援します。これにより、社員のさらなる成長を促し、専門性の深化を図ります。

技術教育



機械工学や電気、電子回路、電子工学、ソフトウェア開発、画像処理、真空技術、クリーン化、光学、分析化学の他、幅広い講座を提供しています。また、プロジェクトマネジメントや体外診断（ヘルスケア）に関連する知識も学べる機会があります。上長と相談しながら、自分に必要な講座を自由に選んで受講できるため、個々のキャリアやスキルに応じて成長することが可能です。これにより、専門性を高め、業務の幅を広げることが可能です。

自己啓発（オンデマンド教材）



当社では、社員の自己啓発を支援することを重視しています。その一環として、自己啓発のためのオンデマンド教材を提供し、費用は会社が負担しています。この教材には、英語やプログラミングなど、社員が必要とするさまざまなスキルを学べる動画が含まれています。自分のペースで時間や場所を選んで学習できるため、業務に忙しい社員でもスキルアップの機会を持つことができ、自信を深めながらキャリアを築くことができます。

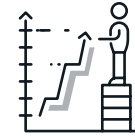
（株）日立アカデミーによる研修



日立グループのコーポレートユニバーシティである日立アカデミーでは、社員が多様な研修プログラムを受けられます。技術研修や階層別研修のほか、例えば、育児休暇取得前に参加できる「プレママ／プレパパセミナー」が提供されており、将来の親となる社員同士が交流しながら学び合う場となっています。ライフスタイルの変化に対する理解を深め、ライフステージが変わっても安心して働き続けられる環境を整えることをめざしています。

データでみる日立ハイテク

年間売上収益（連結）



7,565 億円

（2025年3月期）

EBIT※
（連結）

837
億円 / 年間

（2024年3月期）

※受取利息及び支払利息調整後税引前当期利益

海外売上比率



77%

（2024年度日立ハイテクグループ実績）

設立



1947年

（前身の日製産業設立年）

従業員数



連結 15,016 名
単独 6,689 名

（2025年3月時点）

平均年収



952 万円

（2024年度 総合職）

平均年齢



41.7 歳

（2024年度 総合職）

世界シェア



半導体計測装置
電子顕微鏡
医用機器・ライフサイエンス製品

1位（首位）級

男性育休取得率



82.8%

（2024年度実績）

平均残業時間



21.6
時間 / 月

（2024年度実績）

年休取得日数
（平均）

17.9 日

（2024年度実績）

年間休日



126 日

（2024年度実績）

従業員の
女性比率

18.0%

（2025年3月時点）

技術力・開発力
（特許件数）

10,504 件

高専内定者数
（26卒）

44 名

（うち専攻科 12名）

高専内定者の設計開発
ポジションの割合
（26卒）

66%

ご家族の皆様へ



田内 勤

半導体製造装置分野
プロセスシステムセンタ
センタ長
笠戸地区

“つくる力”と“つながる力”が花開く場所

高専で学んでいる皆さんは、入社時点ですでに“モノづくりの現場”を知っているという大きな強みを持っています。座学中心の学びとは異なり、実際に手を動かし、試行錯誤を重ねてきた経験は、業務に直結する実践力となって表れます。入社後の吸収の早さや、現場への適応力には毎年驚かされるほどです。

そうした力を活かし、伸ばせる環境を整えている当社では、多くの高専卒の若手が設計や開発といった“モノづくりの中核”で活躍しています。グループ実習を通じて身につけた協調性も、チームの中でしっかりと発揮されており、頼もしい存在です。さらに当社では、学歴に関わらずすべての社員が実力や人間性で評価されます。一人ひとりの希望や適性に応じて、着実にステップアップできる環境も整っており、挑戦する姿勢を後押しする風土があります。

また、全国の高専出身者が幅広い世代で在籍しており、共通のバックボーンを持つ仲間として、世代を超えて支え合える関係性があるのも心強い点です。社会を支える製品づくりの中で、高専で育んだ力が確かな形で発揮されています。

10-∞

move the world

ようこそ、 微細の未来へ

人類史に刻まれる画期的な技術や偉大な発明を、後押しすることもある。見えないものを、測れないものを、分からないものを、追い求める毎日。“世界初”に挑むことも珍しくない。たくさんの未知にぶつかりながら、誰も経験したことがない道を進んでいく。目に見えない世界の法則を、知識、技術、情熱でひもとくことで、世界を股にかけ、研究に没頭し、異なる領域の先駆者たちの歩みが重なる。そして、新しいテクノロジー、新しいビジネスという大きな道をつくる。道の先に、社会のつぎの夜明けを。

株式会社 日立ハイテク

本社

〒105-6409 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

青梅事業所

〒198-0023 東京都青梅市今井三丁目7番19

那珂地区那珂サイト

〒312-8504 茨城県ひたちなか市市毛882番地

那珂地区マリンサイト

〒312-8504 茨城県ひたちなか市新光町552番53

笠戸地区

〒744-0002 山口県下松市東豊井794番地 他

サイト情報はこちら



採用サイト

高専プラス

本パンフレットは、2025年当時の取材及び会社情報等の内容であり、予告なく変更されることがあります。最新の情報は弊社HPより入手ください。